

## 「夏が来れば思い出す」尾瀬山行報告

【山城】尾瀬

【日程と天気】2016年7月11日(月)晴れ

【メンバー】菊池単独

【行程】鳩待峠 8:10ーアヤメ平ー見晴十字路ー山の鼻ー16:30 鳩待峠



・今年はまだ梅雨明けしていないが10日～12日は好天予想、11日、12日は夏休みと取っており、数年来温めていた潤沢ー北穂高岳の写真撮影山行に行く予定であったが諸事情により中止せざるを得なかった。先週の50周年記念の乗鞍ー焼岳登山口の帰路、車の中で尾瀬の「アヤメ平」の話題が出ていた。

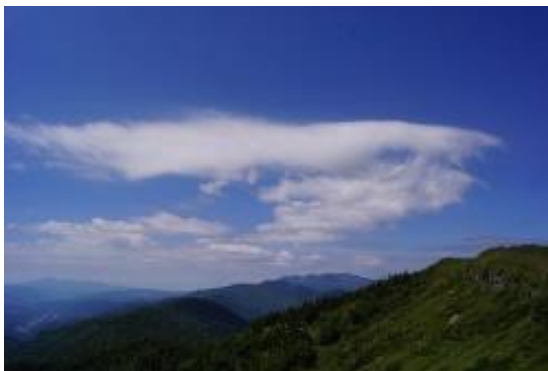
尾瀬にはハイキング・BCで頻回に訪れている。特にBCでは毎年のように来ており、残雪の少なかった今年も4月末に鳩待峠から至仏山BCを楽しんだ。

「夏が来れば思い出す」ではないが、「アヤメ平」を思い出し、前日急遽計画書を提出した。

・平日ではあるが戸倉駐車場に到着すると、それなりに登山客がおり、すぐに乗り合いバスに乗車でき鳩待峠を8:10頃出発できた。



アヤメ平は初体験、緩い林間ルートを暫く登っていくと、木道のある広い平原が広がっていた。頬を撫でる涼風が心地よい。振り返ると至仏山がほほ笑んでいる。登山客は数組のみ、相前後して景色や、タテヤマリンドウを楽しみながらゆっくり進んだ。アヤメ平に到着すると、湿原回復事業が実施されているが、短期間では難しいようだ。「天上の楽園」は戻ってくるであろうか。ニッコウキスゲが数株咲いており、池塘の向こうに燧ヶ岳が構えていた。



アヤメ平から龍宮小屋の下る登山道があるが、今回は富士見峠経由で見晴十字路に下った。橙色の可愛い苔やブナ林を写真に収めながらの2時間の下山ルートである。



見晴十字路は3回目である。1回目は男の子2人を連れて初めて尾瀬を訪れ、見晴十字路の尾瀬小屋に宿泊した。2回目は職場の山仲間10名くらいでテント泊した。いずれも25年

以上前で懐かしく思い出される。

山小屋で一番搾りを購入、しばし至福の休憩タイムであった。

・尾瀬ヶ原散策は今回で5回目であるが、今回は端から端までのルートで初めてである。BC 挑戦を目論んでいる景鶴山やアヤマ平からのルートを観察したりしながらゆっくり山の鼻に向かった。ニッコウキスゲやアヤマは時期が遅いのか、以前に比べ少なくなっているのか、パラパラであった。



大小の池塘が多くなってくると、青空と白雲が水面に映し出され美しい。白樺林と燧ヶ岳をバックに絵葉書的ショットになってしまう。



図らずも丁度午後二時頃であり、開いた可愛いヒツジグサに癒された。

・山の鼻で最後の休憩、一番人気の「豆花ソフト」を食べて鳩待峠に向けてハイクアップ。いつもはシール登行するところを今回はゆっくり、休憩なし1時間15分で鳩待峠に到達できた。コースタイム約8時間の周回ルート、休憩時間を加え8時間半、まあまあのトレーニングルートであった。尾瀬は手軽に来ることができる素晴らしいスポット、今後も写真山行を目的に時々訪れたい。

